【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【公開番号】特開2015-177861(P2015-177861A)
【公開日】平成27年10月8日(2015.10.8)
【年通号数】公開・登録公報2015-063
【出願番号】特願2014-56179(P2014-56179)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】平成29年7月28日(2017.7.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技制御を行うと共に、始動条件の成立に基づいて制御コマンドを出力する主制御基板と、
前記主制御基板から出力された前記制御コマンドに基づいて演出制御を行う周辺制御基板と、
交流電源をもとにして、直流の各種作動電源を生成する電源基板と、
前記周辺制御基板により演出制御されて電磁的駆動源によって可動する複数の可動役物と、
を備えた遊技機において、
前記電源基板により生成された作動電源による電力を監視し、前記電力が予め定められた規定値を超過した場合に、作動信号を出力する電力監視手段と、
前記作動電源により充電される一方、放電することにより、前記複数の可動役物の電磁的駆動源に対して動作用の電源を供給する補助電源手段と、
前記電力監視手段から出力された前記作動信号を受けると、前記補助電源手段を充電状態から放電状態へ切り換える電源切換手段と、
前記補助電源手段の放電を伴う激熱演出を行う激熱演出制御手段と、
前記激熱演出の終了後、前記補助電源手段に電力が蓄積される迄の充電期間を設定する充電期間設定手段と、
前記充電期間中、前記激熱演出に代えて、前記補助電源手段の放電を伴わない消費電力が低い別演出を行う演出替え制御手段と、
を備えた、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００８】
［解決手段１］に係る遊技機は、遊技制御を行うと共に、始動条件の成立に基づいて制御コマンドを出力する主制御基板と、前記主制御基板から出力された前記制御コマンドに基づいて演出制御を行う周辺制御基板と、交流電源をもとにして、直流の各種作動電源を生成する電源基板と、前記周辺制御基板により演出制御されて電磁的駆動源によって可動する複数の可動役物と、を備えた遊技機において、
前記電源基板により生成された作動電源による電力を監視し、前記電力が予め定められた規定値を超過した場合に、作動信号を出力する電力監視手段と、前記作動電源により充電される一方、放電することにより、前記複数の可動役物の電磁的駆動源に対して動作用の電源を供給する補助電源手段と、前記電力監視手段から出力された前記作動信号を受けると、前記補助電源手段を充電状態から放電状態へ切り換える電源切換手段と、を備えた、ことを特徴とする遊技機。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
［解決手段１］に係る遊技機によれば、補助電源手段は、電源基板により生成された作動電源により充電される。また、電力監視手段は、電源基板により生成された作動電源による電力を監視し、作動電源による電力が予め定められた規定値を超過した場合に、作動信号を出力する。電源切換手段は、電力監視手段から出力された作動信号を受けると、補助電源手段を充電状態から放電状態へ切り換える。そのため、補助電源手段の放電により、複数の可動役物の電磁的駆動源に対して動作用の電源が供給され、演出中、電源基板で生成された作動用電源の電力の不足を補うことができる。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項１に係る遊技機によれば、補助電源手段は、電源基板により生成された作動電源により充電される。また、電力監視手段は、電源基板により生成された作動電源による電力を監視し、作動電源による電力が予め定められた規定値を超過した場合に、作動信号を出力する。電源切換手段は、電力監視手段から出力された作動信号を受けると、補助電源手段を充電状態から放電状態へ切り換える。そのため、補助電源手段の放電により、複数の可動役物の電磁的駆動源に対して動作用の電源が供給され、演出中、電源基板で生成された作動用電源の電力の不足を補うことができる。